

# 旭

印刷を支え加工を活かす

Interview 75

折部門

富江史人

自らの基準に従い、しっかりと価値判断を行うタイプの富江史人さん。業務工程の仕上げ部分を担い、ときには仲間と力を合わせて品質の維持・向上に貢献しています。厳しく指導を受けて気持ちに沈んでしまう日もあるようですが、仕事がかまくまぐ運んだときの爽快感はお気に入りの様子。自分と向き合いながら、それでも前を見て進んでいく富江史人さんの本音を伺いました。



現在の業務内容を教えてください。  
単独業務の場合は、作業の大半が製品の検品や積み込みです。一方、2人で協力業務を行うときは、積み込みや包装などがメインになります。

旭紙工株式会社へ入社した経緯を教えてください。  
就職活動をしていた当時、私の中では会社

を選ぶ基準が2つありました。1つ目は、やってみたい仕事かどうか。そして2つ目は、自分が実際に入ったときにやっていけるかどうかという基準です。そこで当社の求人票を目にしたところ、「やってみたい」と直感。そして実際に見学したときに、「難しそうで苦戦しただけけれど、慣れていくしかない」と決意し、いざ面接へと臨みました。学校で練習したときとはシチュエーションが異なり動揺しまし

たが、何とか乗り切ることができました。

これまで忘れられない失敗を経験したことはありますか？

以前、包装物を積んでいたときに、段数を間違えてしまったことがありました。積み込みと包装の作業をやっていたのですが体がついていかず、気持ちが焦っていたことが失敗の原因です。その後、上司からは注意を受け、落ち込んでしまうことに……。こういった失敗をしないために、心に常に余裕を持ちながら作業をすることが大切なのだと実感しました。

仕事でやりがいを感じる瞬間はありますか？

機械を止めることなく作業が進んだときや、不良品が想定よりも出なかったときなどにやりがいを感じます。そのように作業が進むと1日の仕事のスムーズにいくため、気持ちがかすっきりしやる気に繋がります。

最後に、今後の目標を教えてください。

わからないことや確認しておきたいことはすぐに聞きに行き、作業に支障が出ないように動くことが目標です。私は他人に対して少し構えてしまうタイプなので、もう少し警戒心や構えてしまう性格を抑えつつ、社員のみなさんとのコミュニケーションを大切にしながら仕事に取り組んでいこうと思います。

胸の奥に確固たる信念を掲げ、日進月歩で着実にできることを増やしている富江史人さん。今後のさらなる活躍が期待されます。



## Message For You

今回表紙を飾った富江様へ向けてのコメントを上司である折部門課長 寺山幸作さんより頂きました！

入社当初の感想は「大丈夫かなあ、続くかなあ」と心配しておりました。作業に慣れるまでは大変でしたが、班長筆頭にまわりのサポートもあり、今では1人作業や複数台数積み込みなどいろいろとできることが増えて成長しております。非常に真面目な性格で、仕事にも一生懸命に取り組んでおり、これからの活躍にも期待しています。

### 企業情報

- ◆ 創立年：1983年1月
- ※ 創業：1963年
- ◆ 年商：17.6億円
- ◆ 従業員数：200人

# ビジョンとパッション

第12弾

幹部たちの熱い想いを共有する本企画。今回は瓜破工場の折部門を率いる寺山課長にお話を伺います！  
「すぐに諦めない心」を武器に、これまで乗り越えてきた数々の難題や、部下たちに繰り返し伝えている「失敗」に対する重要な捉え方について、その真意を深くお聞きします。

## 旭紙工の強み

### 私たちにしかできない加工力

当社の強みは、特殊な製本やサイズ、折りなど、他社では実現できない加工ができる点です。技術部があり、相談するとさまざまな手法を駆使して機械に手を加えてくれます。例えば折りに関しては、もともとの機械のスペックによって対応できるかどうかが決まりますが、結果的にそのスペック以上のものが実現できることも。すぐにできないと判断せず、試行錯誤を重ねることこそが、私たちの最大の強みではないでしょうか。

さらに、当社は24時間稼働しているため、その日に依頼されたものがその日のうちに完成するという大きな利点があります。また、大口の対応ができるのも、24時間稼働の特徴です。



旭紙工の  
ここがすごい！

## 今後長期的に成し遂げたいこと

### 働きやすさの追求のために

長期的な視野で見ると、まずは週休2日制の実現を目指しています。また、早く帰りたい人に対しては17時半で帰れるような体制を整えるため、現在計画を進めています。繁忙期には難しい場合もあるかもしれませんが、制度として安定させることが今後の課題です。

現状、機械をセットできるオペレーターを増やす必要性を強く感じているため、社内教育を強化し、メンバーが扱える機械を増やせるようにしたいと思っています。新しいことを覚えるには3~4か月の時間がかかりますし、経験も必要です。しかし、皆が働きやすい職場環境の実現のために、時間をかけて丁寧に指導していきます。

## 寺山さんの考えとは？

瓜破工場 折部門  
課長

寺山 幸作さん



## 仕事をする上で大切にしている考え方

### 失敗を財産に変える、成長のための教え

1つの仕事を任せたからには、責任を持ってやり遂げる必要があります。その際、部下が失敗するようなことがあっても、原因や対策と一緒に話し合うよう心がけています。社長がよく「失敗は財産」とおっしゃいますが、本当にその通りです。失敗しないと、何も前に進みません。「失敗を大事にして、次に活かそう」と、部下にも常々伝えています。引き続き、部下たちへのメンタル面でのサポートも大切にしつつ、成長を促していきたいと思っています。

## 課長としての信念

### 諦めない心が生む、限界を超えた成果

仕事に対して簡単には諦めない姿勢が大切だと考えています。例えば、機械をセットしたときにうまくいかない場合、私はどうかして当社にある機械で解決できないかを考えるようにしています。「もしかしたらできるのではないか」と思って取り組んだ結果、できるようになった事例はこれまでに何度もあります。

なかには「機械をセットしたけれど、できません」と言いに来る社員もいますが、そこで諦めてほしくはないのです。やり方を工夫するなど、もう一歩踏み込んで考えるように指導しています。まずは最後まで責任を持って諦めずに試行錯誤することがとても重要です。

